

	新たな評価WG 議論のまとめ（R8.6.3）	第120～125回大学院部会における議論の概要
情報基本	学部【2790（国:438,公:247,私:2105）】 ※学生数（学士：計266万人） 国：44万人、公：15万人、私：207万人	研究科【1895（国:446,公:199,私:1250）】 ※学生数（修士：計18万人） 国：9.8万人、公：1.2万人、私：6.9万人 （博士：計8.2万人） 国：5.6万人、公：0.6万人、私：2.1万人 （専門職：計2.3万人） 国：0.9万人、公：0.1万人、私：1.3万人
考え方基本的な	✓ 質保証の視点と質向上の視点の双方から評価 質保証…法令等で求められる水準に達していること 質向上…学生一人一人の能力を最大限伸ばしていること	✓ 基本的には学部と同様 ✓ 大学院独自の特徴（※）に応じた基準等により評価 ※例えば、研究指導や学位審査など
質保証の視点に基づく評価基準	✓ 大学設置基準等に基づく4つの基本的な方針のもと、7つの評価基準、15の評価項目で評価 DPの策定・公表 <u>教育課程・教育環境体制（AP・CP）</u> <u>学修成果の適切な把握と評価</u> 不断の自己改善 «具体的な基準等の例» ・ 学位にふさわしいDPが設定されていること ・ 教育課程を体系的に編制していること ・ 適切に単位認定を行っていること など	✓ 大学院設置基準等に基づく3つの基本的な方針のもと、8つの評価基準、12の評価項目で評価 3つのポリシーの策定・公表 <u>適切な学位審査・学位授与の実施</u> 不断の自己改善 «具体的な基準等の例» ・ 論文審査委員名や後述試験が公表されていること ・ 標準修業年限内での円滑な学位授与が行われていること など
質向上の視点に基づく評価基準	✓ 教育活動を通じて教育成果を明確に挙げているかという点を評価。 ✓ 評価機関は、以下のポイントを踏まえ <u>1つ星、2つ星、3つ星</u> を総合的に判断。（要是正と合わせて <u>4段階</u> ） ①教育活動の <u>取組状況</u> ②教育成果 （教育成果を示す根拠例） ・直接評価（試験,ループブック,eポートフォリオ等） ・間接評価（学生調査,振り返りシート等） ・社会での活躍（就職先への調査,卒業者アンケート等）	✓ 教育活動を通じて教育成果を明確に挙げているかという点を評価。 ✓ 評価機関は、以下のポイントを踏まえ <u>1つ星or3つ星</u> を総合的に判断。（要是正と合わせて <u>3段階</u> ） ①教育活動の <u>取組状況</u> ②教育成果 （教育成果を示す根拠例） ※各研究科が代表例と全体実績を記載 ・直接評価（試験,ループブック, 指導教員からの評価等） ・間接評価（学生調査,修了者による自己評価等） ・社会での活躍（修了後●年以内の論文数、就職先における人物評価等）